



新年度予算、多種多様

予算特別委員会では実質6日間にわたる審査が行われ、各部ごとに多種多様な面から議論が交わされました。主なものを記載します。なお、予算特別委員会のすべての審査の様子は、インターネット（録画）でご覧いただけます。

予算特別委員会の主な意見・要望

■教室へのエアコン設置を

子どもたちの学習や健康への深刻な悪影響を防ぎ、快適な学校教育実現のため、早急な整備を求める。

有利な財源等を確保して前倒しの整備、緊急性のある教室への優先整備を求める。

■三川坑跡の保存・活用について

多様な市民意見を反映させるためにも、時間をかけた基本構想策定を求める。

基本構想には市民・議会合意と最少の予算という議会決議の精神を反映させるよう求める。

三川坑跡は世界遺産の構成資産から外れており、保存の制約もないことを踏まえ、石炭産業科学館の役割と位置づけを明確にし、同



館の充実度を視野に入れた適切な保存の検討を求める。

■母子生活支援施設廃止について

児童福祉・母子支援の観点から必要な施設。困難な状況の母子に寄り添った相談・支援制度、体制など今後一層の充実を求める。

施設の果たすべき役割・ニーズはますます大きくなっていることから、市民意見を聞き、施設存続のための努力を求める。

廃止されると居住という観点から不都合が生じるため、緊急性に応じて公営住宅への優先入居を検討するなど、必要な時に入居でき



Q 学校へのエアコンは前倒して整備を A 有利な財源が確保できたら検討する

市立小中学校普通教室へのエアコン設置については、議会報告会での意見や小中学校PTA連合会からの陳情等も踏まえた上、昨年9月の決算特別委員会の中で全会派及び無所属委員2名により合意形成を図り、最重要の要望として、市長に回答を求めました。

この回答が2月10日、市長より出され、新年度予算に反映されていなかったことやエアコン設置の必要性は認めながらも、具体的な計画が示されていなかったことから、政策等調整委員会を設置

し、この案件を議論しました。3月の本会議での代表質問や一般質問でもこれに関する質問が各会派から相次ぎ、28年度から3カ年程度で整備したいとの市長答弁がなされ、一定の評価はしたものの、その後の予算特別委員会でも、すべての会派の委員から意見・要望が相次ぎました。

この結果、小中学校普通教室へのエアコン設置については、教育委員会では予算編成権がなく的確な答弁ができないことから、市長への総括質問となりました。

市議会では7年ぶりとなる総括質問では、議案第97号平成26年度大牟田市一般会計予算に関して、市立小中学校普通教室へのエアコンの前倒し整備について市長に質問。国の有利な財源等が確保できれば前倒しをして整備をすることは当然として、こうした財源が見つからなくとも緊急を要する教室などについては、26年度で補正予算を組み実施していただきたいと要望しましたが、市長は臨時的に有利な財源が確保できる場合には前倒しも含め総合的に検討する、と述べるに留まりました。

これを受け、さらに政策等調整委員会で議論し、議会として行政